

陳情趣旨及び理由

4月の初めごろ桜を求めて世界中から多くの人々が集まる日本にあって、数々の世界遺産を擁する京都は、最も人気のある観光地としてしばしば名前が挙げられ、日本の文化的中心とみなされています。このことは京都市役所の正面入り口の上に掲げられた、「文化庁の京都移転決定」との横断幕にもよく表れています。京都は歴史的な都市として、活気あふれる持続可能な現代的な都市になるための非常に良い資源を有しています。

しかしそれと同時に、梨木神社、下賀茂神社、二条城などにおける近年の建築計画に見られるように、京都についての人々の認識と実際の建築上の環境との間に大きな隔たりがあることが明らかになってきています。これらの計画はすべて観光地の近隣で行われており、それぞれ京都の都市としての構造に対して現実的な悪影響を及ぼすことでしょう。しかしながら都市計画の観点からより深刻な事例があります。それは、立本寺境内地で京都市によって行われようとしている仁和公園の取り壊しです。

公園は現代における都市の構造の不可欠な要素です。公園は、レクリエーション、文化、防災などの点で市民の根源的な必要に供するものです。国際的にみて、先進国では、古びた工業地域や文化遺産などがうまく活気にあふれた公的な空間へと転用される数々の事例があります。一方で、既存の公園、とりわけ歴史的な環境にある公園が、私企業の投資の目的で取り壊されるような事例は、私たちの知る限り一つもありません。このことは京都の将来にとって深刻な問題を暗示します。

私たちは日本において経済的な困難に直面している寺院や神社があることを知っています。しかし、私たちはそうした寺社の環境を破壊するよりも、もっと効率的に経済的な問題を解決する方法があつて然るべきと考えます。例えば、観光は京都にとって現在最も重要な収入の一つであり、文化的な遺産や場所の保存と直接的に関連します。立本寺境内地はその周囲に新たに作られた駐車場や建物によって少しずつ分解され、影響を受けています。

ヨーロッパと日本で教育を受けた現役の現代建築家として、また京都の長年の住民として、私たちは、市民が居住する環境における都市開発について関心を寄せる職業的責任があると感じます。上に述べた理由により私たちは、単に京都の歴史遺産だけでなく、国際的なレベルで見た現代的な都市としての京都の地位を脅かしている都市計画や都市経営における近年の傾向によって、京都の都市としての質が損なわれることを非常に恐れています。したがって、京都市会として仁和公園の取り壊しについて再考を行うことをお願い申し上げます。

単なる営利目的の私企業による投資を自由に行わせるのではなく、京都市はその都市の景観および自然の景観、文化的小よび歴史的遺産を適切に保護するための法的、財政的な枠組みを構築し、将来世代のためのより良い住環境を育むために地域と協働すべきと考えます。

陳情項目

- ・ 4月下旬に予定されている仁和公園の取り壊しについてご再考下さい。
- ・ 文化的、歴史的景観を適切に保護するための法的、財政的な枠組みについてご検討下さい。


平成28年4月21日

京都市会議長 津田 大三 様

陳情者住所



氏名


Boronski Peter (ボロンスキー ピーター)

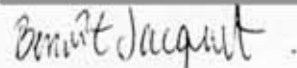
電話番号



陳情者住所



氏名


Benoit Jacquet (ベノワ ジャケ)

電話番号



平成28年4月21日

京都市 会 議 長

様

上京区仁和学区、仁和公園に関する陳情書

要 旨

1. 第3回の公園閉鎖及び代替公園計画に関する保護者住民向け説明会を開催して下さい。
2. 4月28日から始まる仁和公園の現状復帰撤去工事を一時延期して下さい。

陳情の理由

上京区仁和学区、仁和公園が4月末を持って閉鎖されると、回覧板にてお知らせがありました。第1回の住民説明会が行われたのは3月10日。第二回説明会では、代替公園案が出され住民に対して十分に説明ができていないという意見がでました。その場で、住民に対する第3回の説明会が要求されたにも関わらず、4月12日付けの回覧文書では代替公園案で決着がつき、これ以上の説明会は行わないとの通知でした。

私たちが記憶するに3月10日の説明会お知らせ以前の告知、仁和連合会、町会を通しての説明は一切なく。同地域の中で、全く私たちの意見・声が確かめられたことはありませんし、説明もございませんでした。仁和公園で子どもを遊ばせている私たち母親にとって、それがどんなに横暴なやり方であるか。どうして説明を尽くしてもらえなかったのか。非常に残念に思っております。どうか、公園閉鎖及び代替公園計画に関する保護者と住民向け説明会を再度開催して下さい。

また、私たち母親から見て代替公園には多くの問題点があります。同程度の規模とありますが、実際は参道を公園と見立てているだけで、子どもの遊べるスペースは仁和公園の3分の1程度です。建設予定介護付きマンションへの車両出入口と通学路の位置関係など心配な点が多くあります。公園が建物に囲まれ奥まった場所になり、防犯上においても大変危険だと思われます。どうか、公園のあり方について、私たち母親の意見も是非聞いて下さい。地域のお母さんたちの不安な声を、どうか取入れ再検討して下さい。

4月21日現在、自然豊かで広々とした仁和公園（通称：立本寺公園）で、子ども達は毎日思い切り走り回って遊んでおります。そして自然からたくさんのことを学んでいます。私たちはこの立本寺公園で季節の移り変わりを子どもたちと共に感じ、共に楽しみながら、その成長を見守ってきました。仁和学区で子育てをしている私達にとって、立本寺公園はなくてはならない地域の宝物と思っております。その公園の廃止・代替公園について、私たち母親の意見も是非とも汲み上げていただきたいと、切に思っております。いまからでも是非お願いしたいと思います。

重ねて、いま一度ご説明いただきますまでは仁和公園の借地返還にともなう現状復帰工事の延期をお願いいたします。このままでは、長期間にわたり子どもたちの過ごす場所がなくなってしまうます。どうか説明をつくし、公園のあり方を考えた上で進めていただきたいです。

以上のことから、何とぞ公園を利用する母親の声を真摯に受け止めていただきますようお願い申し上げます。仁和公園で子どもを遊ばせている私たち母親は、上記二点について、強く要望し陳情いたします。

陳情人代表

お署名筆をさえる

住所

氏名

坂田英恵